

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.8

最近「エス・ディー・ジーズ」とよく耳にし、多彩な17の目標を目にすることが多くなりました。SDGsとは「持続可能な開発目標」のことで、地球上の「はげしい気候変動」「貧富の格差や不平等」「紛争や暴力に苦しむ人が増えている」現状から“このままでは美しい地球を次の世代に残せないかも”という不安が広がる中で生まれました。“つづかない世界をつづく世界にしよう”と、2015年の国連サミットで国連加盟国すべての国が賛同した世界共通の目標です。特徴は17の目標がすべてつながり合っていることです。自分が大事だと思う問題に取り組むことが、他の目標や問題へつづく入り口になります。

小・中学校での学習も広がるSDGs。子どもたちが授業で学びを深める中、大人は学ぶ機会が少ない現状です。絵本の中にはSDGsに触れる作品がたく

子育てとSDGs絵本 その1

さんあります。親しみやすい絵本を通し、親子で楽しみながら学んでみるのはいかがでしょうか。

絵本「わたしがわかる みらいもわかる SDGsはじめのいっぽ」。わたしたちのちきゅうでなにがおきているの?一から始まり、日常の小さな行動が大きな力になっていくことを簡潔明瞭に示しています。幼児期から始めるSDGsのための現実的な行動も分かりやすく描かれており、あとがきに大人への解説文もあります。

「ムズカシそうなSDGsのことがひと目でやさしくわかる本」。単行本ですが、大きくインパクトのあるイラストとやさしい解説でSDGsの基本が分かります。小学生でも大人と一緒に楽しく話しながら読むことのできるコンパクトな入門書です。

私たちが住んでいる大きな家“地球”を見つめなおし、その家の中にあるたくさんの生命を大切にす

こと、皆で守っていくことを、子どもたちと一緒に、絵本と一緒に考えていけたらと思っています。

今回ご紹介する絵本 と本



わたしがわかる みらいもわかる SDGsはじめのいっぽ

作原 琴乃
絵 MAKOオケスタジオ
監修 山田 基靖 汐文社



ムズカシそうなSDGsのことがひと目でやさしくわかる本

著者 本田 亮
小学館

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター。Think the Earth SDGs for School 認定エデュケーター